

令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	まつだ しゅんじ	
氏名	松田 俊司	
所属・役職	金沢未来のまち創造館・館長 金沢市情報統括責任者（CIO）	
活動拠点	金沢市を中心に活動	
略歴	<p>1987年4月 市役所入庁、情報部門に配属 財務会計や税業務のオンラインシステムの開発に従事 その後、全庁的なネットワーク構築やグループウェアの導入を手がける。</p> <p>2006年4月 行政経営部門で情報システム適正化事業に従事 2012年4月 ICT推進室の新設にあわせて、室長として配属 ICT推進室長配属後、市公衆無線LANの整備やオープンデータの推進、Code for KANAZAWA とともにシビックテック推進やその人材育成事業にも取り組む</p> <p>2016年4月 情報政策課長 2018年4月 広報広聴課長、チャットボットの導入やLINE等SNSによる情報発信に取り組む</p> <p>2021年4月 市民局長 2023年4月 より現職。情報統括責任者として、3月に策定したDXアクションプラン（3年計画）を推進している。</p>	
地域情報化の専門分野・技術	<p>オープンデータ シビックテック 公衆無線LAN 自治体業務システム</p>	
専門分野	<p>オープンデータ計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等） 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 5G デジタルアーカイブ/図書館 テレワーク スタートアップ支援（起業支援） ICT活用広報</p>	
自治体向けメッセージ	<p>30年超の職員生活における多くの期間、情報関連事業に取り組んできました。従来型の情報システムの構築だけでなく、住民団体などとの協働によるシビックテックやオープンデータの推進、公衆無線LAN構築やVRの活用、最近ではDXの推進などについて、これまでの経験を生かし、皆さんとともに考え、アドバイスできればと思います。</p>	
関連サイト		

地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>1987～88 財務会計システム構築</p> <p>1991～92 税総合オンラインシステム構築</p> <p>1995～97 庁内ネットワーク・グループウェア構築</p> <p>1998 農家台帳システム構築</p> <p>1999 新財務会計・文書管理システム計画策定</p> <p>2006～10 情報システム適正化事業</p> <p>2012～17 公衆無線LAN整備</p> <p>〃 オープンデータ推進</p> <p>〃 シビックテック推進</p> <p>〃 ICT人材育成（アプリコンテスト・アプリ塾等）</p> <p>2018～ AIを活用した広聴機能強化の研究やVR等を活用したシティプロモーション</p> <p>2020～ DX推進に係る学識者等との</p> <p>その他、広域エリア（金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町）におけるオープンデータ推進などの情報化推進施策の検討</p>
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	